

Teens Joy

お勧め図書リスト「ティーンズ・ジョイ」

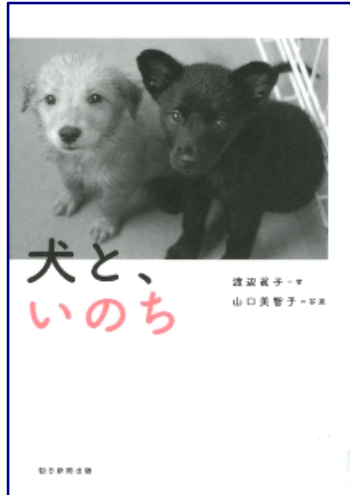


NO. 3 2010.10

清瀬市立図書館

犬と、いのち

渡辺 眞子／著
朝日新聞出版



表紙の犬たちのつぶらな瞳が胸を打つ。人間のエゴで簡単に失われる多くの命から、どうか目をそむけないでください。

犬たちをめぐる厳しい現実と、ボランティアで保護に取り組む人々のメッセージがギュッと詰まっています。

かわいそうと思うだけではでなく、命を考える、いつくしむ、そして伝える勇気をくれる本です。

< 駅前図書館 城山 >

今の現状が「つらい」時は、「つらい何か以外の別の世界」を作るのもアリ。

そんな別の世界を作ってくれたチイちゃんが好きになったのは競馬選手！。付き合いで見に行くうちに自分もハマってしまったカン子。

ずっと親友同士の彼女達の友情と成長を描く、楽しくて、ちょっと辛い事もあるけれどキラキラした物語です。

< 下宿図書館 伊藤 >

草の上で愛を

陣崎 草子／著
講談社



主人公の由香は高校生。家は皿山と呼ばれる陶芸を家業とする集落のうちの1軒。静かな里山での両親や祖父母との生活、ミステリアスな東京からの転校生の噂話、友達や先輩との他愛ない会話。

そんな毎日に、これといって不満があるわけではないけれど、どこか気持ちが頼りなげに揺れている。

淡々としているけれど、ほっこりとした気持ちになる1冊です。

<竹丘図書館 外口>

皿と紙ひこうき

石井 睦美／著
講談社



若い人におくる龍馬のことば

小松 成美／著
筑摩書房



末っ子の泣き虫だった少年が、前向きに物事をとらえて、夢に向かっていくようになったのはどうしてでしょう？

龍馬が土佐に住む家族や、仲間に向けて書いた手紙には、彼の迷いや悩み、信念が書かれています。

この手紙の中から「龍馬の言葉」を読みやすく現代文にして、生の声を伝えています。原文も載っているので、それも読んでみてください。

著者は第一線で活躍する、人物のルポルタージュが得意な人です。

<野塩図書館 長谷川>

中央図書館にティーンズコーナーを設けました



今年6月、中央図書館の2階に中学・高校生の皆さんに読んでいただきたい本を集めて、ティーンズコーナーを設けました。

「Teens Joy」で紹介してきた本のほか、スポーツや政治・哲学に関して分かりやすく書いた本、小説・読み物など約400冊の本があり、ゆっくり本を読むことのできる専用の席も用意してあります。

1人10冊まで2週間の貸出もしていますので、ご利用をお待ちしています。

図書館HP <https://www.library.kiyose.tokyo.jp>

携帯電話 <https://www.library.kiyose.tokyo.jp>